

平成23年度 進路講演会

講師 安藤 虎太郎 先生
(ベネッセコーポレーション)。

テーマ 希望する進路へ！
『進路マップ』の活用法



4月22日(金)に本校視聴覚教室で、PTA 進路講演会を行いました。

残念ながら当日出席できなかった保護者の皆様に、講演会のお話から3点をご紹介します。

1)「進学環境」について

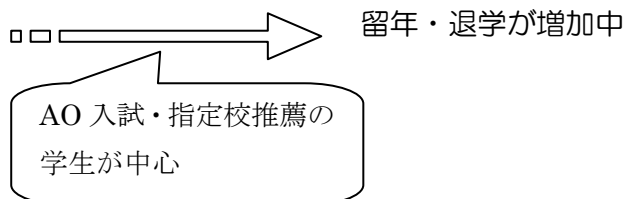
- ① キーワードは「5割」「11万人」「3割以上」
 - ・誰でも入れる大学が全体の約5割
 - ・大学・短大・専門学校の中退者は約11万人(除籍数が入っていない = 実数は20万人)

	国立大	私立大	短大	専門学校	合計
在学者数(人)	758,713	2,087,195	160,976	552,711	3,559,595
1年間の中退率(%)	1.6	2.9	4.2	6.7	3.2
平成21年度中対者数(人)	12,139	60,528	6,760	37,077	116,504

「第27回メンタルヘルス研究会報告」より

- ・小中学校の学び直しをしている学校の数は3割以上

- ② 大学・短大・専門学校の声
「入れるから入学してきた学生」
「基礎学力が不足している学生」



学びたい大学 学び続ける力

③ 進路選択の POINT

- ・学べる内容を最優先 短大、4月に入学して11月から就活が始まる
- ・学校の雰囲気 オープンキャンパスで誤魔化されない！ 普段の登下校の様子！
- ・予算 早ければ秋にまとまった資金(約70~100万)必要



2) 入試問題を分析すると

- 教科書から 100%出題され、1・2年の教科書からは 8 割が出題
- 基礎 60% ← 「差がつく問題」
- 応用 20% ← 「差がつく問題」
- 難問 20% ← 「差がつかない」
- 入試問題では満点はとれず、最高で 8 割くらい
- 合格最低点は凡そ 6 割 5 分

以上より、基礎の 6 割を取りこぼさない勉強が大切。学校で学習する内容をしっかり身につける = 合格への一番の近道。学校の授業を完璧にすること、簡単そうだけれど意外とできない。

3) 「進路マップ」の結果 5～6月に返却 (3年:5月26日、1・2年:6月2日進路 HR)

- ・「進路マップ」で、Bゾーンの判定=産近甲龍に一般入試で十分合格できるくらいの力
- ・Bゾーンの力がある人は、「行けるとこないかなあ」と指定校から選ぶ必要はない。力をしっかりつけて、産近甲龍に是非チャレンジして欲しい。
- ・専門学校に進学を希望している人は、Cゾーンの力を最低限つけられるよう頑張ること。Cゾーンの力があれば、「資格」試験に合格することも可能である。

4) 子どもと進路の話をするのが大切。しかし、思春期を迎えた子どもは、なかなか親と向き合って話したがない。

- ・夢や目標について話す
 - ・本人が気付いていない「できていること」を褒めてあげる (声をかける)
 - ・行動の変化を褒めてあげる
 - ・進路関係で不明なところは一緒に調べてみる
- 子どもとの接し方で、いろいろできることはある。

きっと、参考になる点があると思いますので、活かせるところは是非活かしてみてください。

平成 23 年度 授業参観

5限目に実施した授業参観には、62名の保護者の皆様に来ていただきました。有難うございました。